

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

※北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究で実施

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

7月14日に祝津ホタテ養殖漁場のホタテ部会の試験用桁で、表層から水深30mの浮遊幼生調査を行いました。調査の結果、ザラボヤの浮遊幼生は確認されませんでした（表1）。しかし、5月12日に垂下した試験籠への付着状況では27個体の付着を確認しました（図1）。2019年には9月に初めて付着を確認しましたが、今年は2か月早い確認となりました。付着サイズは平均12.9mm（最大19.6mm、最小7.8mm）でした。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温 【℃】	クロロフィル 【μg/L】	ザラボヤ	
				個	個/トッ
ホタテ部会の 調査桁	0~30m	16.6~23.1	0.0~0.5	0	0

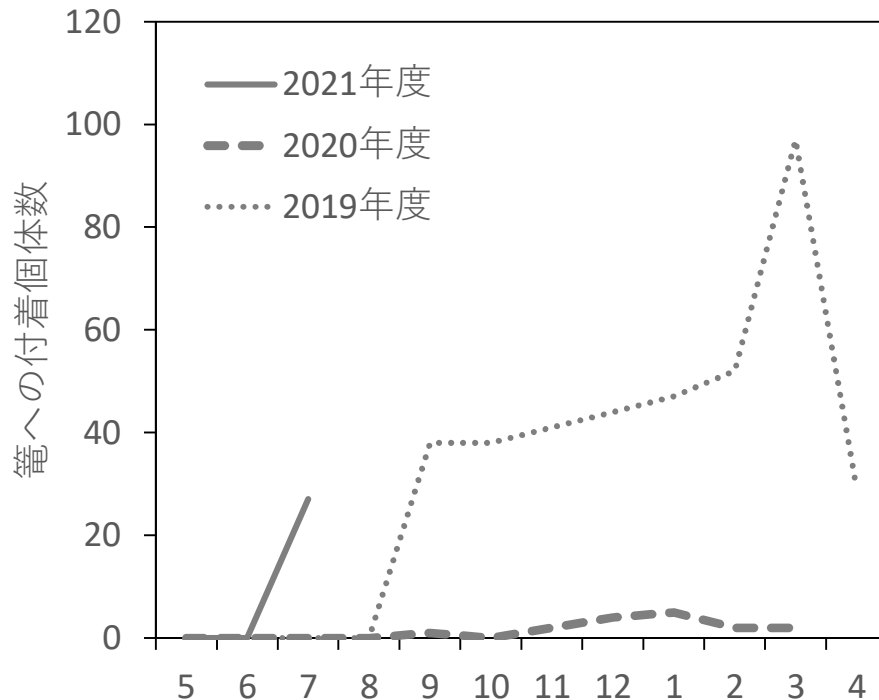


図1：籠へのヨーロッパザラボヤの付着数の変化



写真1：罎に付着していたヨーロッパザラボヤ

【参考資料】

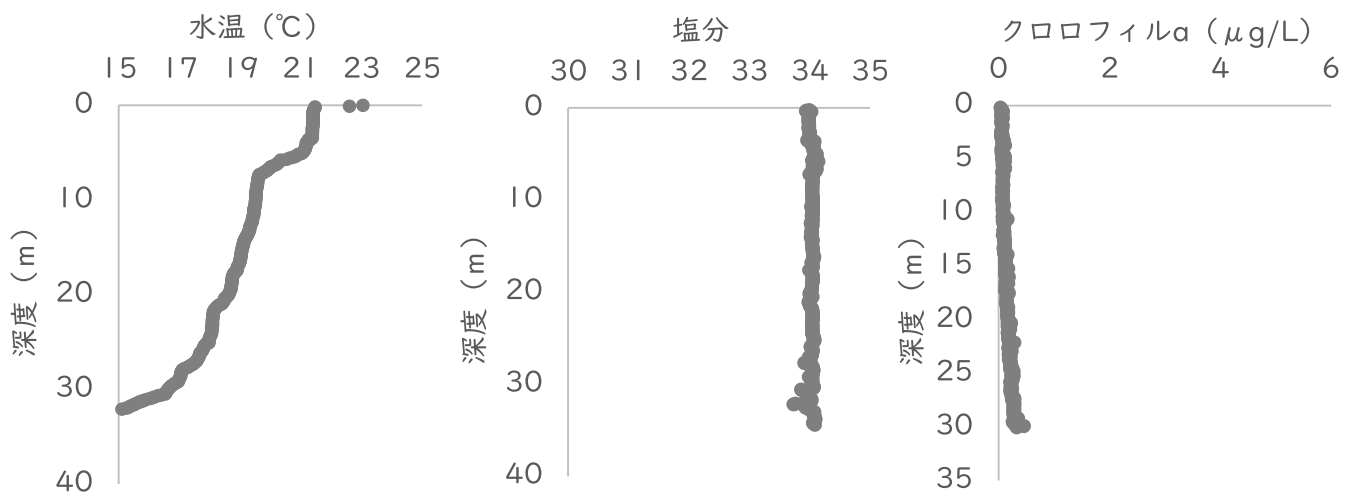


図2：ホタテ部会調査桁の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布

©ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します（次回調査：8月上旬に実施予定）。
 ※調査結果は中央水産試験場HPからも確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd0000002m9a.html>